

特許・技術調査レポート

Patent & Technology Research Report

個別企業特許ポートフォリオ分析

SONY CORPORATION

2011.4

CONTENTS

第1章 全体俯瞰分析

1-1	出願件数の推移とステータス	1
1-2	パテントスコア分布、高パテントスコアリスト	2
1-3	原出願企業ランキング	3
1-4	共同出願ランキング	3

第2章 技術分類別注目度評価

2-1	SONY CORPORATION 技術分類マップ	4
2-2	個別分野の分析－「テレビジョン(Class 348)」分野	6
2-3	個別分野の分析－「動的情報記録再生(Class 369)」分野	7
2-4	個別分野の分析－「コンピューターグラフィックス処理、ユーザーインターフェイス処理及び選択的視覚表示装置(Class 345)」分野	8
2-5	高評価技術分野の経過情報分析	9

第3章【参考資料】

3-1	パテントスコアについて	10
3-2	技術分類マップについて	11
3-3	米国特許分類 原文	12
3-4	分析に用いたツール「BizCruncherUSA」について	14

第1章 全体俯瞰分析

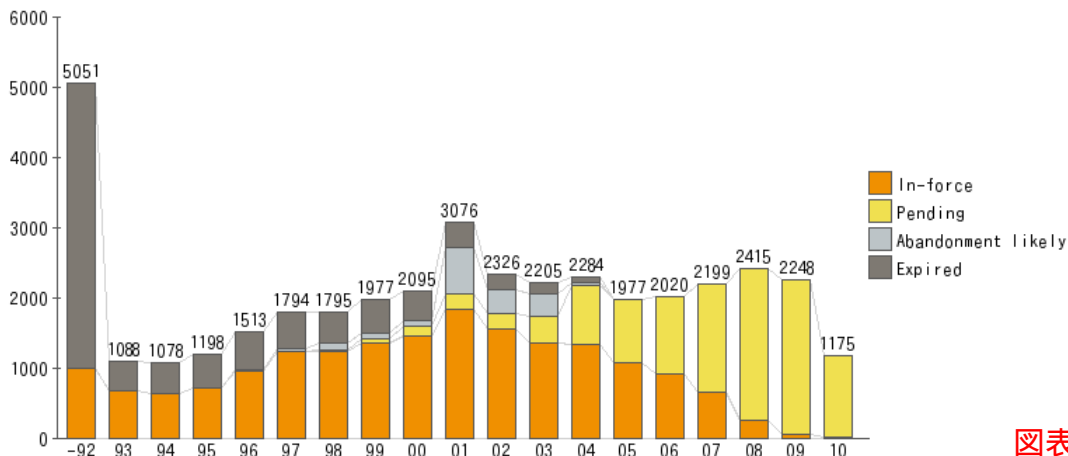
分析対象の特許群について

本分析は、1980年から2011年2月末までに公開された特許公報のうち、現在のAssigneeが”SONY CORPORATION”である特許39,514件を抽出し、これを特許母集団として分析を行った。

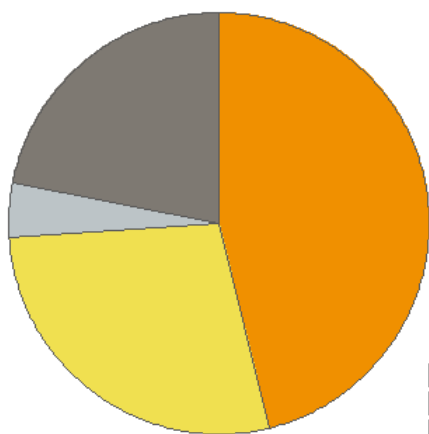
1-1 出願件数の推移とステータス

2000年以降コンスタントに出願、全体の7割強が有効特許

図表1に、1992年以降に出願され、現在のAssigneeが”SONY CORPORATION”である特許の出願件数年推移を示す。出願件数は、1990年代前半から継続的に増加し、2001年にピークを迎える。その後一時減少するが、毎年2000件前後で推移している。図表2は全特許におけるステータスの状態を表したものである。18325件(46.1%)が権利継続中(In-Force)、10976件(27.8%)が出願中(Pending)となっている。



図表1



Total: 39514

■ 18325 (46.1%) In-force
■ 10976 (27.8%) Pending
■ 1649 (4.2%) Abandonment likely
■ 8654 (21.9%) Expired

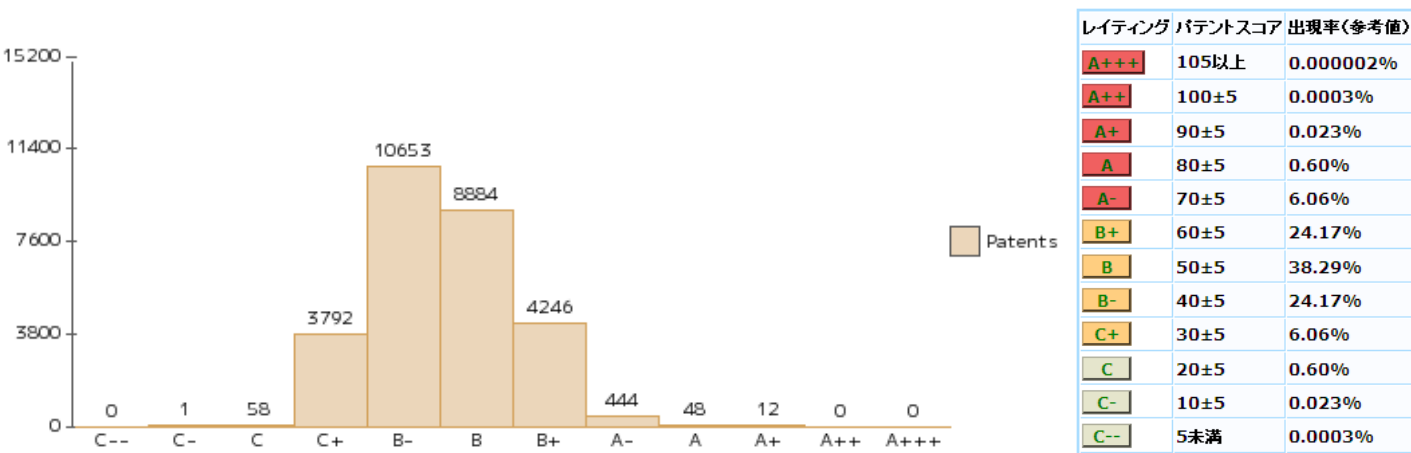
ステータス	摘要
In-force	特許登録されたもので、まだ失効していません。
Pending	特許登録されていないもの。ただし、下記の "Abandonment likely" に該当するものを除く。
Abandonment likely	見なし失効。出願後7年を経過して、特許登録されていないものは、今後、特許登録されることはないと思われています。
Expired	特許登録後、失効したものと、年金未納によるものと、特許期間の満了に該当するものがあります。

図表2

1-2 パテントスコア分布・高パテントスコア特許リスト

図表33は有効特許公報29,211件についてパテントスコアを算出し、そのレーティングの分布を現したものである。レーティングA-以上は504件(1.7%)、B+以上は4,750件(16.3%)となっている。

個別の特許ではレーティングA+となる特許が12件あり、第1位は「WIRELESS SYSTEM USING A NEW TYPE OF PREAMBLE FOR A BURST FRAME」特許、2位は「Varifocal zoom lens and camera system」特許、3位は「Command processing method and radio communication apparatus」となっている。



図表3

Patent Number / Document Number	Issue / Publication Date	Filing Date	Title	Initial Assignee (or Inventor)	レーティング	パテントスコア
2009-0225741	2009/9/10	2008/11/26	WIRELESS SYSTEM USING A NEW TYPE OF PREAMBLE FOR A BURST FRAME	SONY CORPORATION	A+	92.4
7133215	2006/11/7	2005/6/6	Varifocal zoom lens and camera system	SONY CORPORATION	A+	87.5
RE40745	2009/6/16	2001/9/17	Command processing method and radio communication apparatus	SONY CORPORATION	A	83.6
RE41664	2010/9/14	2006/5/23	Solid-state imaging device, driving method therefor, and imaging apparatus	SONY CORPORATION	A	83.2
2009-0217323	2009/8/27	2008/1/25	EXPANDED PLAYLIST FOR TV VIDEO PLAYER	SONY CORPORATION, SONY ELECTRONICS INC	A	82.6
6792476	2004/9/14	2000/10/27	Storage medium, and method and apparatus for information processing	SONY CORPORATION	A	82.1
RE41810	2010/10/5	2002/2/26	System and method for effectively implementing a personal channel for interactive television	SONY CORPORATION, SONY ELECTRONICS INC	A	82
2008-0309861	2008/12/18	2008/6/13	LIQUID CRYSTAL DEVICE AND ELECTRONIC APPARATUS	SEIKO EPSON CORPORATION	A	81.9
7355936	2008/4/8	2002/10/9	Disc recording medium, disc drive apparatus, and reproduction method	SONY CORPORATION	A	81.9
RE40044	2008/2/5	1998/5/15	Data recording apparatus and method, data reproducing apparatus and method, data recording/reproducing apparatus and method, and transmission medium	SONY CORPORATION	A	81.7

図表4

1-3 原出願企業ランキング

元々はEPSON IMAGING DEVICE、SEIKO EPSONが出願した特許が多い

SONY CORPORATIONが保有する特許のうち、原出願人がSONY CORPORATIONではない企業の件数ランキングを図表5に示す。

最も件数が多い多いのはEpson Imaging Deviceの特許であり、SEIKO EPSONが続く。セイコーエプソンの中・小型液晶事業をソニーに譲渡していることから、このような結果になったと言える。(ランキングにSONY系企業は除く)

Company	Patents cnt.
EPSON IMAGING DEVICES CORPORATION	167
SEIKO EPSON CORPORATION	31
IPWIRELESS INC	27
SANYO EPSON IMAGING DEVICES CORP	22
MITSUBISHI DENKI KABUSHIKI KAISHA	14
INTERACTIVE PICTURES CORP	10
U S PHILIPS CORPORATION	9
IPIX CORP	8
PANASONIC CORPORATION	8
EASTMAN KODAK COMPANY	6
INTERNATIONAL BUSINESS MACHINES CORPORATION	6
MOXTEK INC	6
SANYO ELECTRIC CO LTD	6

図表5

1-4 共同出願ランキング

SONY CORPORATIONとの共同出願はPANASONIC CORPORATIONが最も多い

SONY CORPORATIONとの共同出願ランキング()を図表6に示す。

最も出願件数が多いPANASONIC CORPORATIONをはじめとして、日系企業との共同出願が多い(ランキングにSONY系企業は除く)

Company	Patents cnt
PANASONIC CORPORATION	60
UNITED MEMORIES INC	58
MATERIALS RESEARCH CORPORATION	52
SANYO ELECTRIC CO LTD	45
SHARP KABUSHIKI KAISHA	43
FUJITSU LIMITED	40
KABUSHIKI KAISHA TOSHIBA	37
DIGITAL AUDIO DISC CORPORATION	29
NEC CORPORATION	28
ROHM CO LTD	23

図表6

原出願がSONY CORPORATIONでかつ現在の権利者もSONY CORPORATIONの特許が集計対象

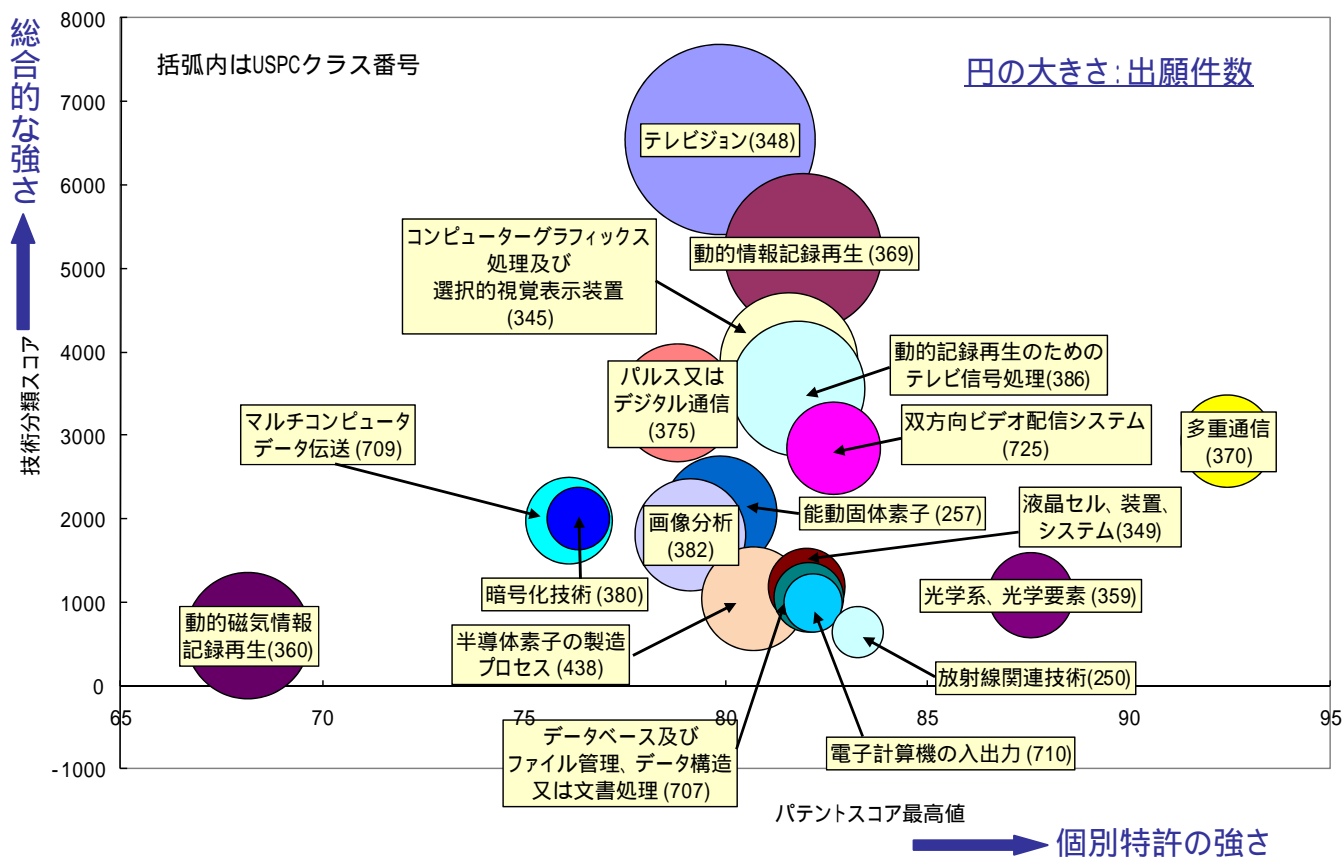
第2章 技術分類別注目度評価

本分析では、AssigneeがSONY CORPORATIONの特許をUSPCクラスレベルで分類し、パテントスコアを用いることで各分類の強さを可視化した。技術分類スコア上位3分類は次節以降でサブクラスレベルに分類、分析する。

2-1 SONY CORPORATION 技術分類マップ(USPCクラスレベル)

総合力トップは「テレビジョン」

図表5に、SONY CORPORATIONの技術分類スコアマップ(USPCクラスレベル)を示す「テレビジョン」分野は、出願件数が多いだけでなく、総合力(パテントスコア合算値)も高く、中核をなす技術分野であるといえる。また、個別特許力が最も高い分野は「多重通信」分野となっている。



図表7

< グラフの見方 >

円の大きさ: 出願件数 開発規模を表す

横軸 (個別特許の強さ) : = パテントスコア最高値 各技術分野の特許群の中で最高値の特許のスコア

縦軸 (総合的な強さ) : = 技術分類スコア 各技術分類の特許群のスコアを合算した値

上記項目のいずれか10位以内となる分類をマッピング

分析対象の公報数: 39,514件

図表8 出願件数上位10分類

USPC Field	件数	技術分類 スコア	パテントスコア 最高値
テレビジョン	3843	6548.4	79.8
動的情報記録再生	2646	5190.1	81.9
コンピューターグラフィックス処理及び選択的視覚表示装置	2022	3882.3	81.6
動的記録再生のためのテレビ信号処理	1921	3558.5	81.8
動的磁気情報記録再生	1661	599.9	68.2
パルス又はデジタル通信	1467	3385.7	78.8
能動固体素子	1355	2069.9	79.9
画像分析	1310	1805.4	79.1
半導体素子の製造プロセス	1145	1044.5	80.7
双方向ビデオ配信システム	916	2848.7	82.7

図表9 技術分類スコア上位10分類

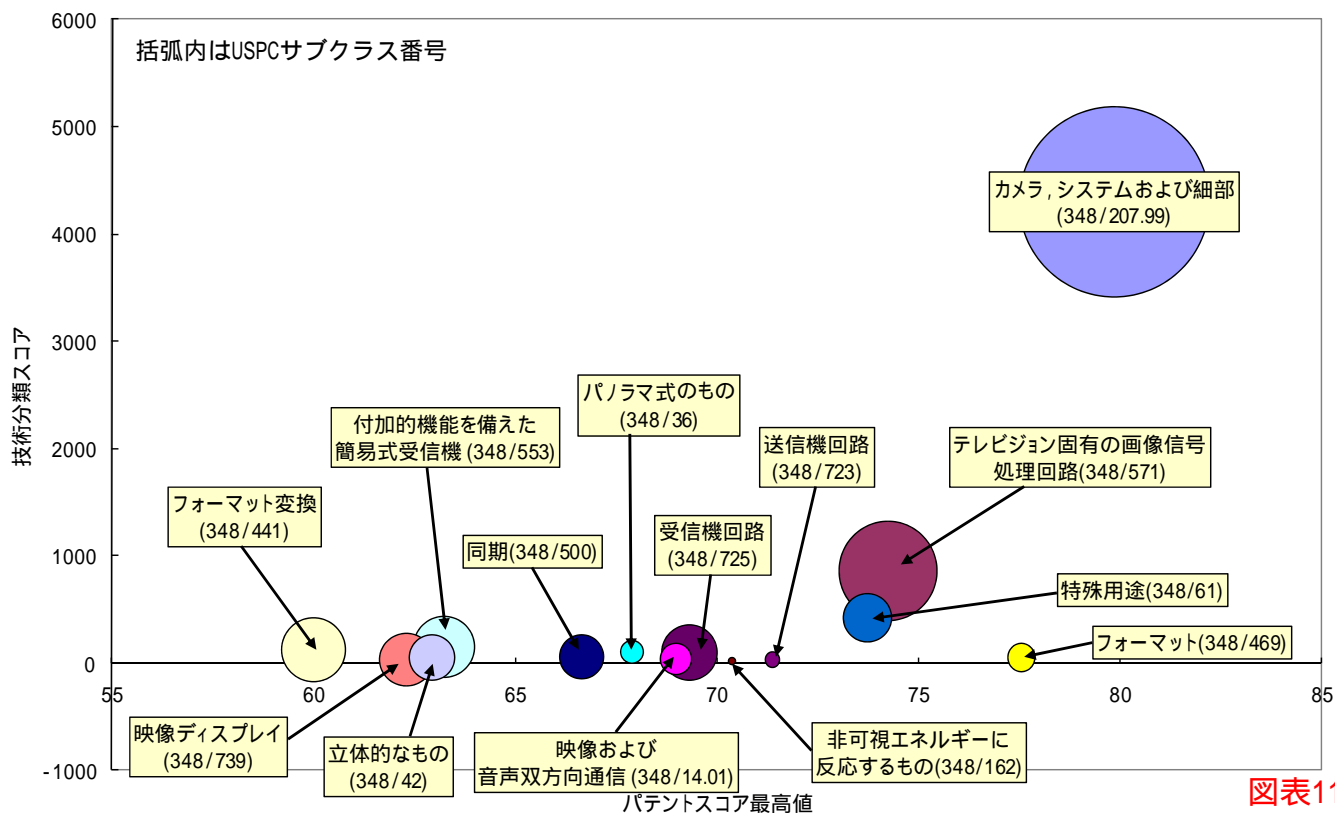
USPC Field	件数	技術分類 スコア	パテントスコア 最高値
テレビジョン	3843	6548.4	79.8
動的情報記録再生	2646	5190.1	81.9
コンピューターグラフィックス処理及び選択的視覚表示装置	2022	3882.3	81.6
動的記録再生のためのテレビ信号処理	1921	3558.5	81.8
パルス又はデジタル通信	1467	3385.7	78.8
多重通信	897	2931.0	92.4
双方向ビデオ配信システム	916	2848.7	82.7
能動固体素子	1355	2069.9	79.9
暗号化技術	426	2006.0	76.3
マルチコンピュータ、又はマルチプロセス	798	1984.8	76.1

図表10 技術分類最高スコア上位10分類

USPC Field	件数	技術分類 スコア	パテントスコア 最高値
多重通信	897	2931.0	92.4
光学系、光学要素	763	1087.4	87.6
放射線関連技術	270	646.1	83.3
双方向ビデオ配信システム	916	2848.7	82.7
電子計算機の入出力	361	984.8	82.2
データベース及びファイル管理、データ構造又は文書処理	512	1058.9	82.1
液晶セル、装置、システム	623	1191.9	82.0
動的情報記録再生	2646	5190.1	81.9
動的記録再生のためのテレビ信号処理	1921	3558.5	81.8
コンピューターグラフィックス処理及び選択的視覚表示装置	2022	3882.3	81.6

2-2 個別分野の分析-「テレビジョン(Class 348)」分野技術分類マップ (USPCサブクラスレベル)

総合力が最も高いのは「カメラ、システムおよび細部」分野



< グラフの見方 >

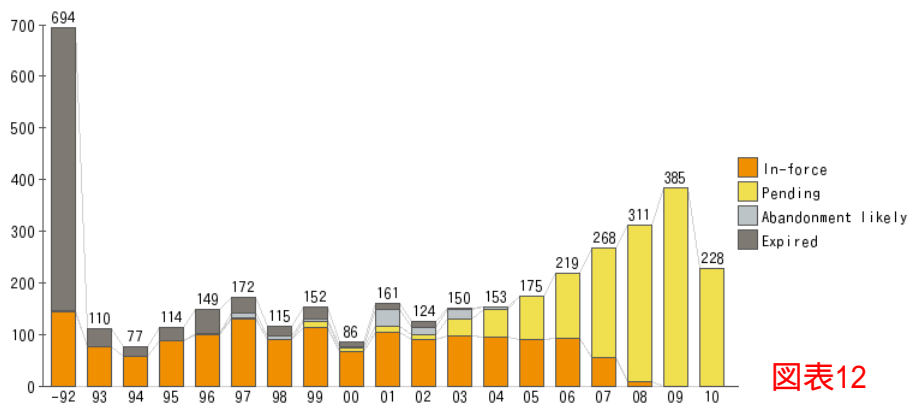
円の大きさ：出願件数
開発規模を表す

横軸（個別特許の強さ）：
= パテントスコア最高値
各技術分野の特許群の中で
最高値の特許のスコア

縦軸（総合的な強さ）：
= 技術分類スコア
各技術分類の特許群の
スコアを合算した値

上記項目のいずれかが10位以内となる分類
をマッピング

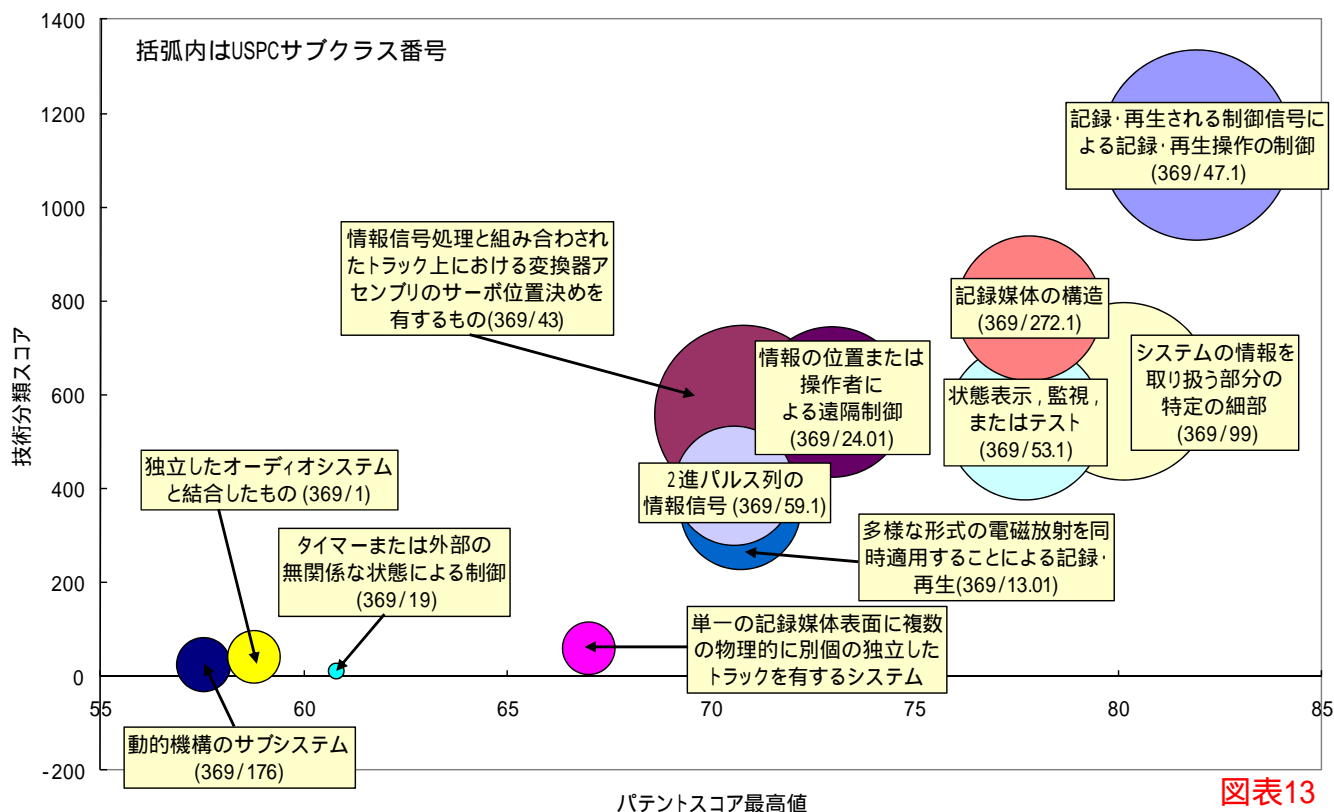
分析対象の公報数：3,843件



図表11に、「テレビジョン」分野の技術分類スコアマップ(USPCサブクラスレベル)を、図表12にその出願件数推移を示す。本分野をサブクラスレベルで見ると、「カメラ、システムおよび細部」分野が件数、総合力、個別力の全てにおいて最も高い。また、「テレビジョン」分野の出願件数は増加傾向にあることから近年リソースを割いている分野であることがわかる。

2-3 個別分野の分析-「動的情報記録再生(Class 369)」分野 (USPCサブクラスレベル)

総合力が最も高いのは「記録・再生される制御信号による記録・再生操作の制御」分野



図表13

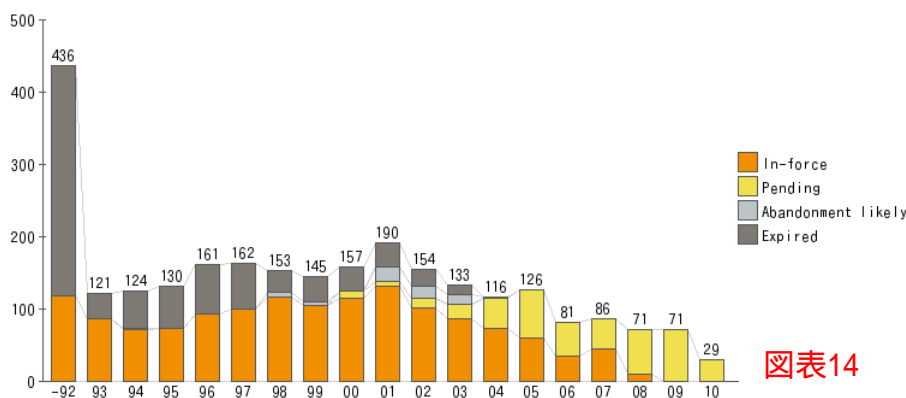
< グラフの見方 >

円の大きさ：出願件数
開発規模を表す

横軸（個別特許の強さ）：
= パテントスコア最高値
各技術分野の特許群の中で
最高値の特許のスコア

縦軸（総合的な強さ）：
= 技術分類スコア
各技術分類の特許群の
スコアを合算した値

上記項目のいずれか10位以内となる分類
をマッピング
分析対象件数：2,646件

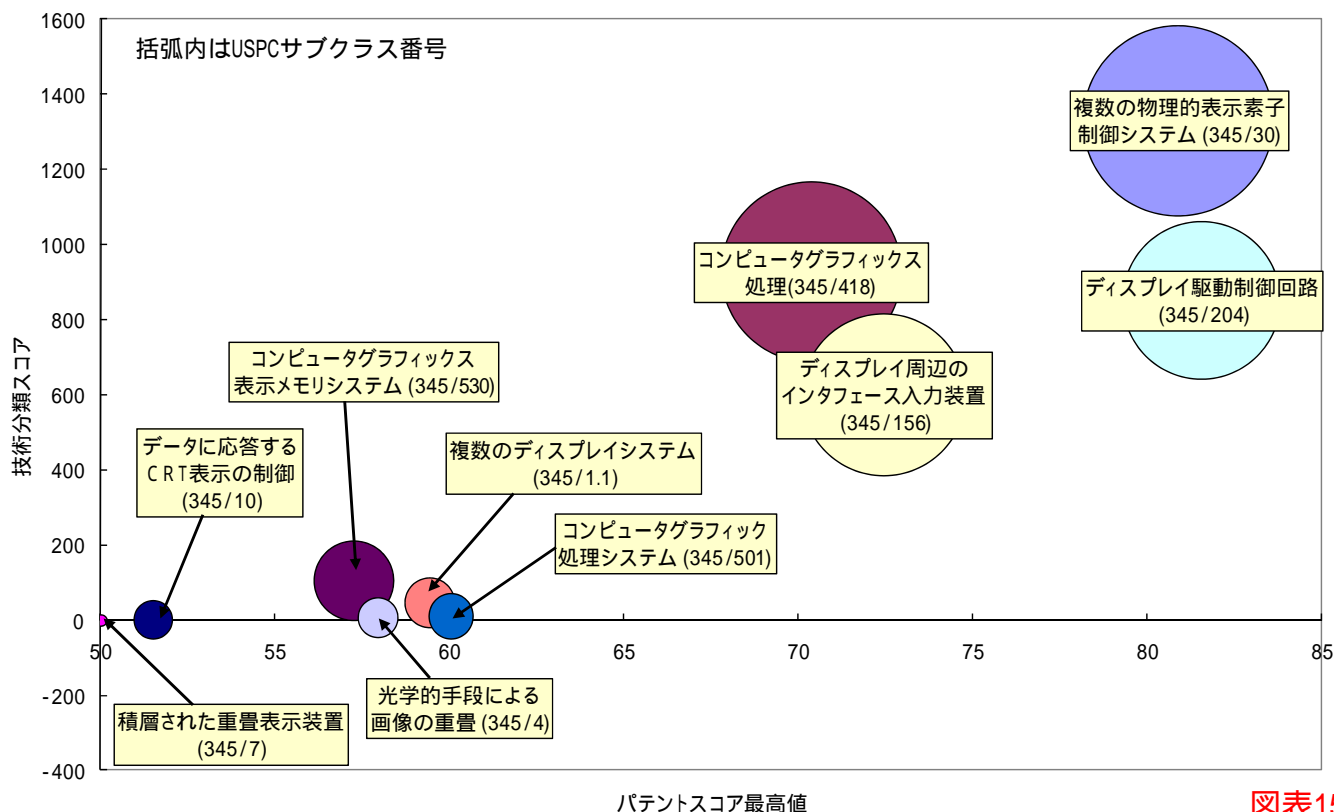


図表14

図表13に、「動的情報記録再生」分野の技術分類スコアマップ(USPCサブクラスレベル)を、図表14にその出願件数推移を示す。本分野をサブクラスレベルで見ると、「記録・再生される制御信号による記録・再生操作の制御」分野が件数、総合力、個別力の全てにおいて最も高い。出願件数は減少傾向にある。

2-4 個別分野の分析-「コンピューターグラフィックス処理、ユーザーインターフェイス処理及び選択的視覚表示装置(Class 345)」分野 (USPCサブクラスレベル)

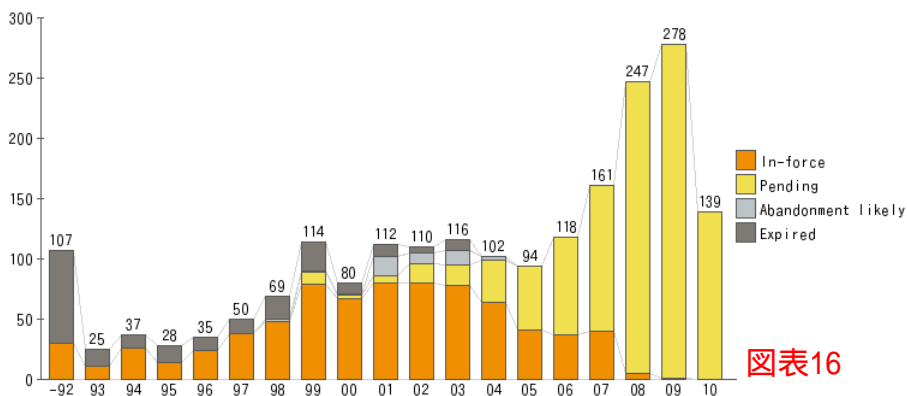
総合力が最も高いのは「複数の物理的表示素子制御システム」分野



図表15

< グラフの見方 >

- の大きさ：出願件数
開発規模を表す
 - 横軸（個別特許の強さ）：
= パテントスコア最高値
各技術分野の特許群の中で
最高値の特許のスコア
 - 縦軸（総合的な強さ）：
= 技術分類スコア
各技術分類の特許群の
スコアを合算した値
- 分析対象件数：2,022件



図表16

図表15に、「コンピューターグラフィックス処理、ユーザーインターフェイス処理及び選択的視覚表示装置」分野の技術分類スコアマップ(USPCサブクラスレベル)を、図表16にその出願件数推移を示す。本分野をサブクラスレベルで見ると、「複数の物理的表示素子制御システム」分野の件数、総合力が最も高く、パテントスコア最高値は「ディスプレイ駆動制御回路」が最も高い。出願件数で見ると、近年かなり件数が増加している分野であることがわかる。

2-5: 高評価技術分野の経過情報分析

「テレビジョン」はライセンス・譲渡関係の経過情報が多く、「動的情報記録再生」は自社による出願関連経過情報や被引用が多い

企業名	全体	Class 348	Class 369	Class 345
総特許数	39514	3843	2646	2022
有効(In-Force+Pending)特許数	29211	2971	1821	1763
登録(In-Force)特許数	18235	1493	1413	763
登録率	46.1%	38.8%	53.4%	37.7%
再発行特許出願回数 (自社・割合)	70 0.24%	1 0.03%	10 0.55%	0 0.00%
訂正証明書回数 (自社・割合)	2000 6.85%	143 4.81%	211 11.6%	97 5.50%
分割出願回数 (自社・割合)	2550 8.73%	171 5.76%	262 14.4%	46 2.61%
継続出願回数 (自社・割合)	3711 12.7%	315 10.6%	306 16.8%	183 10.4%
一部継続出願回数 (自社・割合)	646 2.21%	65 2.19%	11 0.60%	35 1.99%
優先権主張数 (自社・件数当り回数)	31019 1.06	2993 1.01	2106 1.16	1848 1.05
再審査請求回数 (自社他社・割合)	5 0.017%	1 0.034%	1 0.055%	0 0.00%
被引用回数: サーチレポート (自社他社審査官・件数当り回数)	25 8.56E-04	2 6.73E-04	3 1.65E-03	0 0
被引用回数: 発明者 (自社他社・件数当り回数)	66145 2.26	5246 1.77	6247 3.43	2720 1.54
被引用回数: 審査官 (審査官・件数当り回数)	71101 2.43	6991 2.35	6856 3.76	2766 1.57
ライセンス数 (自社他社・件数当り件数)	2 6.85E-05	1 3.37E-04	0 0	0 0
知財担保融資回数 (自社他社・件数当り回数)	58 1.99E-03	2 6.73E-04	0 0	1 5.67E-04
法人間の譲渡回数(自社・他社) (自社他社・件数当り回数)	494 0.017	51 0.017	17 9.34E-03	19 0.011

(上段: 回数・件数、下段: 割合・件数当り回数または件数)

図表17

Class348: テレビジョン

Class369: 動的情報記録再生

Class345: コンピュータグラフィックス処理、ユーザーインターフェイス処理及び選択的視覚表示装置

集計は有効特許のみが対象

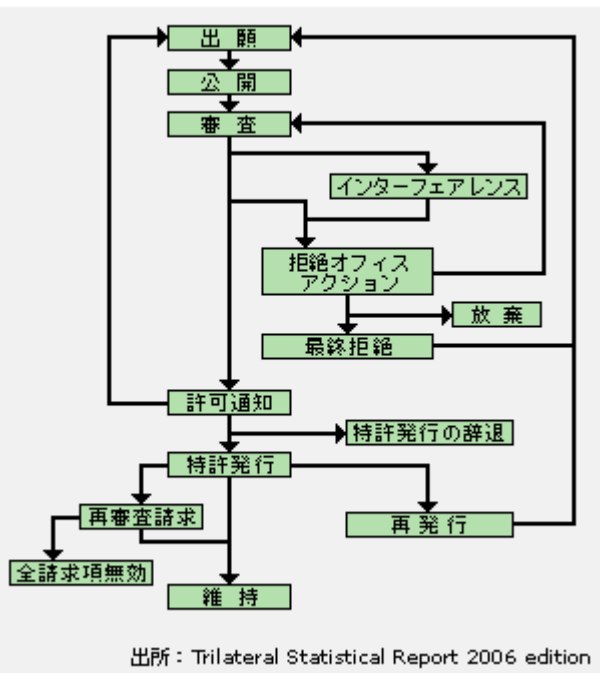
図表17に、技術分野別の審査経過情報を有効特許で集計した結果を示す。「テレビジョン」分野はライセンス・譲渡関係の経過情報が多く、「動的情報記録再生」分野は自社による出願関連経過情報や被引用が多いことが特徴である。

第3章 参考資料

3-1 パテントスコアについて

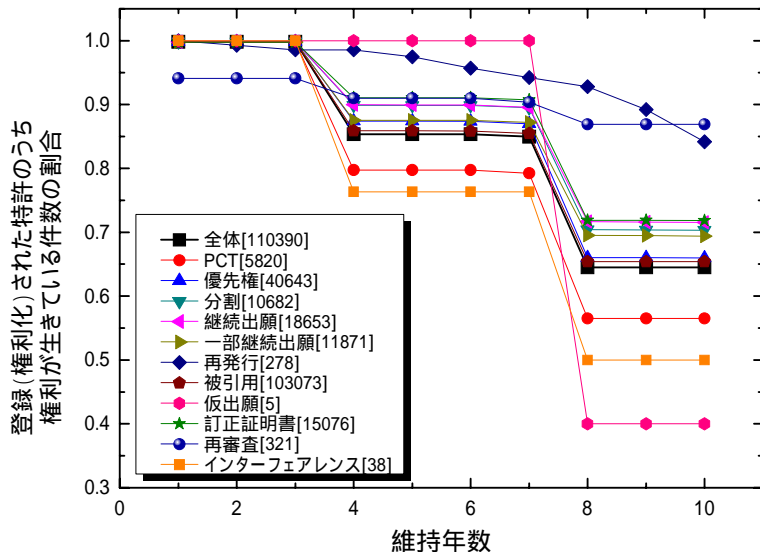
パテントスコアは、特許自動評価システムにより特許1件ごとに算出された値であり、計算には特許の審査経過情報や書誌情報といった公知情報のみを利用することで、客観的な評価を実現しました。評価対象は米国内の権利化された特許および権利化の可能性のある特許全て(約300万件以上)で、自社特許の棚卸し分析や、他社保有の膨大な特許ポートフォリオのマクロ分析はもちろん、注目する各個別特許の予備評価として人的評価前のスクリーニングにも活用することができます。

米国特許庁 特許権取得までの流れ

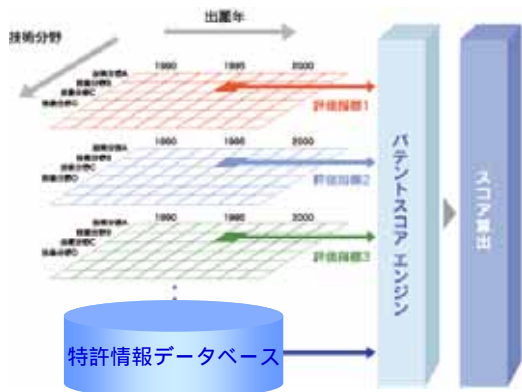


パテントスコアは、特許出願後査定に至るまでの出願人・審査官・競合他社のアクション(経過情報)を同一技術分野及び出願年の特許群の中で相対比較し、相対的な偏差値として算出した値です。

1996年登録米国特許の経過情報別 維持率の推移



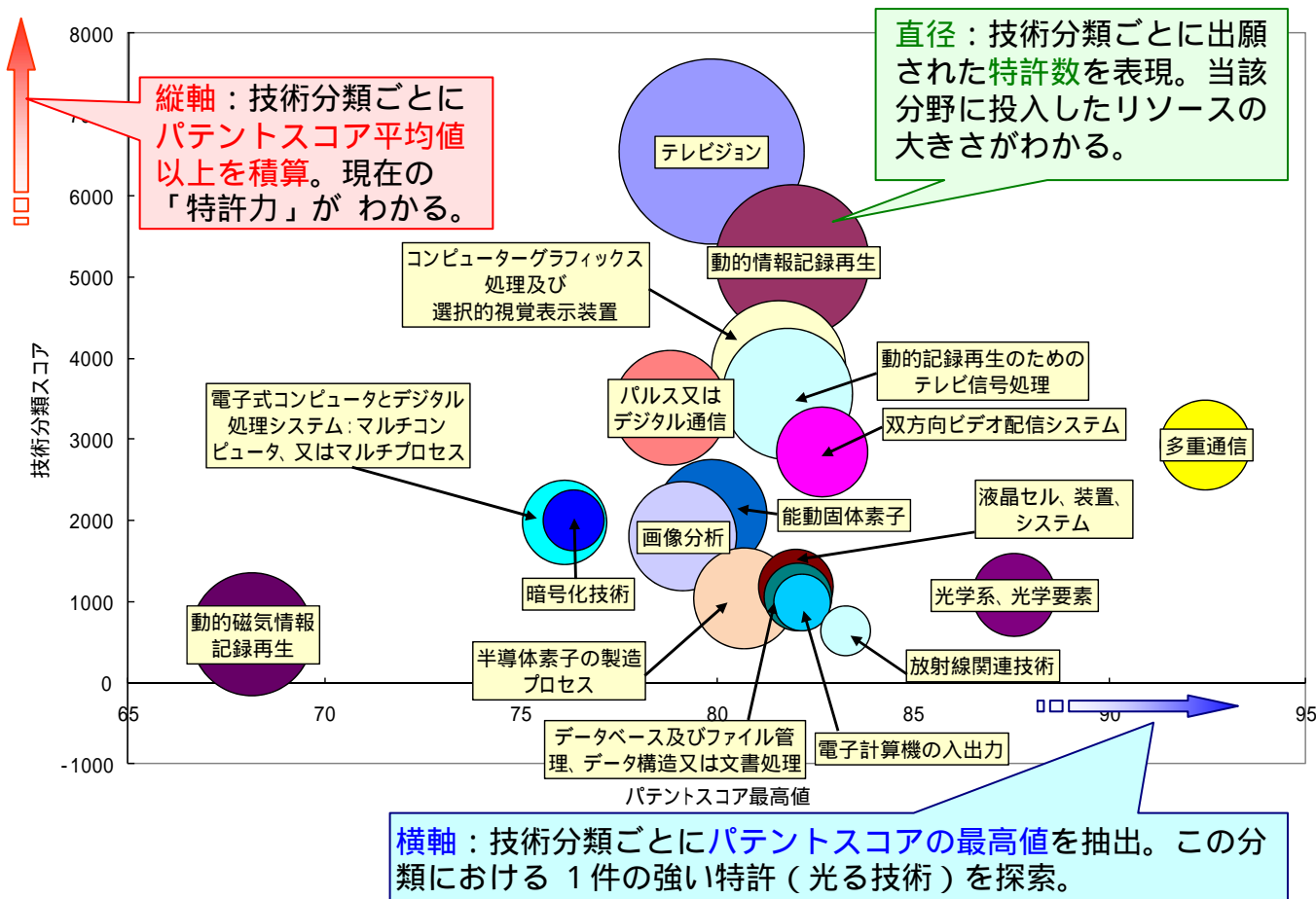
未登録の公開特許で、出願から7年が経過しているものは「推定みなし取下げ」等とし、パテントスコアの算出対象から除外しています。出願から7年が経過していない未登録特許にはパテントスコアを算出していますが、既に無効(取下げ、拒絶など)になっているものがある可能性があります。



各経過情報について、特許の維持率との相関を算出し、維持率が高い審査経過情報が付与された特許ほど、よりパテントスコアが高評価となるように自動算出することで客観的な特許評価を実現しています。

また、相対評価は同一技術分野かつ同一出願年の特許群内で行うことにより、技術分野別の権利化難易度や、古い特許ほど経過情報が付与される傾向、特許審査制度の変更などの影響を緩和しています。

3-2 技術分類マップについて



本分析では、パテントスコアをベースとして、技術分類ごとの相対的な強みや特徴を、「円の大きさ」と、その「ポジション」によって可視化する「技術分類マップ」を使って評価しています。

円の大きさは「出願件数」を、横軸は各技術分類の特許群の中で最も得点が高い特許のスコア（パテントスコア最高値）を、縦軸は各企業が出願した特許群のスコアのうち、パテントスコア50以上のものを合算した値（技術分類スコアを表しています（パテントスコア50以上のもののみを集計することで、件数が多いことにより合計得点が上昇する傾向を緩和しています））。

パテントスコア最高値は、主に技術分類における個別特許の強さ（注目度）を反映した指標であり、出願件数が少なく、技術分類スコアが低い分野でも、注目度の高い特許を出願していれば、横軸の高スコア領域に表示されます。

また、技術分類スコアは、各技術分類の総合的な強さを反映した指標であり、出願件数が少なくても、注目度の高い特許を多く保有していれば、縦軸の高スコア領域に表示されます。

なお、技術分類には米国特許分類（USPC）を用いています。サブクラス以下の分類を用いている場合、使用している分類軸の下層の分類（ドットレベル）も含めて集計しています。例えば、サブクラス・ドット無しレベルのUSPCを用いて分類している場合、1ドットレベル以下のUSPCは上位階層のUSPCに含めています。

3-3 米国特許分類原文

ここでは、本レポートで取り上げた(マッピングされた)米国特許分類の原文を紹介します。

2-1から

和訳文	原文(USPCクラス番号)
テレビジョン	TELEVISION (348)
動的情報記録再生	DYNAMIC INFORMATION STORAGE OR RETRIEVAL (369)
コンピューターグラフィックス処理及び選択的視覚表示装置	COMPUTER GRAPHICS PROCESSING AND SELECTIVE VISUAL DISPLAY SYSTEMS (345)
動的記録再生のためのテレビ信号処理	386 MOTION VIDEO SIGNAL PROCESSING FOR RECORDING OR REPRODUCING (386)
動的磁気情報記録再生	DYNAMIC MAGNETIC INFORMATION STORAGE OR RETRIEVAL (360)
パルス又はデジタル通信	PULSE OR DIGITAL COMMUNICATIONS (375)
能動固体素子	ACTIVE SOLID-STATE DEVICES (E.G., TRANSISTORS, SOLID-STATE DIODES) (257)
画像分析	IMAGE ANALYSIS (382)
半導体素子の製造プロセス	SEMICONDUCTOR DEVICE MANUFACTURING: PROCESS (438)
双方向ビデオ配信システム	INTERACTIVE VIDEO DISTRIBUTION SYSTEMS (725)
多重通信	MULTIPLEX COMMUNICATIONS (370)
電子式コンピュータとデジタル処理システム: マルチコンピュータ、又はマルチプロセス	ELECTRICAL COMPUTERS AND DIGITAL PROCESSING SYSTEMS: MULTICOMPUTER DATA TRANSFERRING (709)
光学系、光学要素	OPTICAL: SYSTEMS AND ELEMENTS (359)
液晶セル、装置、システム	LIQUID CRYSTAL CELLS, ELEMENTS AND SYSTEMS (349)
データベース及びファイル管理、データ構造又は文書処理	DATA PROCESSING: DATABASE AND FILE MANAGEMENT OR DATA STRUCTURES (707)
暗号化技術	CRYPTOGRAPHY (380)
電子計算機の入出力	ELECTRICAL COMPUTERS AND DIGITAL DATA PROCESSING SYSTEMS: INPUT/OUTPUT (710)
放射線関連技術	RADIANT ENERGY (250)

2-2から

和訳	原文(USPCサブクラス番号)
カメラ、システムおよび細部	CAMERA, SYSTEM AND DETAIL (348/207.99)
テレビジョン固有の画像信号処理回路	IMAGE SIGNAL PROCESSING CIRCUITRY SPECIFIC TO TELEVISION
フォーマット変換	FORMAT CONVERSION (348/441)
付加的機能を備えた簡易式受信機	BASIC RECEIVER WITH ADDITIONAL FUNCTION (348/553)
受信機回路	RECEIVER CIRCUITRY (348/725)
映像ディスプレイ	VIDEO DISPLAY (348/739)
特殊用途	SPECIAL APPLICATIONS (348/61)
立体的なもの	STEREOSCOPIC (348/42)
同期	SYNCHRONIZATION (348/500)
映像および音声双方向通信	TWO-WAY VIDEO AND VOICE COMMUNICATION (E.G., VIDEOPHONE) (348/14.01)
フォーマット	FORMAT (348/469)
パノラマ式のもの	PANORAMIC (348/36)
送信機回路	TELEVISION TRANSMITTER CIRCUITRY (348/723)
非可視エネルギーに反応するもの	RESPONSIVE TO NONVISIBLE ENERGY (348/162)

2-3から

和訳	原文 (USPCサブクラス番号)
記録・再生される制御信号による記録・再生操作の制御	CONTROL OF STORAGE OR RETRIEVAL OPERATION BY A CONTROL SIGNAL TO BE RECORDED OR REPRODUCED (369/47.1)
情報信号処理と組み合わされたトラック上における変換器アセンブリのサーボ位置決めを有するもの	WITH SERVO POSITIONING OF TRANSDUCER ASSEMBLY OVER TRACK COMBINED WITH INFORMATION SIGNAL PROCESSING (369/43)
システムの情報を取り扱う部分の特定の細部	SPECIFIC DETAIL OF INFORMATION HANDLING PORTION OF SYSTEM (369/99)
状態表示, 監視, またはテスト	CONDITION INDICATING, MONITORING, OR TESTING (369/53.1)
情報の位置または操作者による遠隔制御	INFORMATION LOCATION OR REMOTE OPERATOR ACTUATED CONTROL (369/24.01)
記録媒体の構造	STORAGE MEDIUM STRUCTURE (369/272.1)
多様な形式の電磁放射を同時適用することによる記録・再生	STORAGE OR RETRIEVAL BY SIMULTANEOUS APPLICATION OF DIVERSE TYPES OF ELECTROMAGNETIC RADIATION (369/13.01)
2進パルス列の情報信号	BINARY PULSE TRAIN INFORMATION SIGNAL (369/59.1)
動的機構のサブシステム	DYNAMIC MECHANISM SUBSYSTEM (369/176)
単一の記録媒体表面に複数の物理的に別個の独立したトラックを有するシステム	SYSTEMS HAVING PLURAL PHYSICALLY DISTINCT INDEPENDENT TRACKS ON A SINGLE STORAGE MEDIUM SURFACE (369/93)
独立したオーディオシステムと結合したもの	COMBINED INDEPENDENT AUDIO SYSTEMS (369/1)
タイマーまたは外部の無関係な状態による制御	CONTROL BY TIMER OR EXTERNAL EXTRANEOUS CONDITION (369/19)

2-4から

和訳	原文 (USPCサブクラス番号)
複数の物理的表示素子制御システム	PLURAL PHYSICAL DISPLAY ELEMENT CONTROL SYSTEM (E.G., NON-CRT) (345/30)
コンピュータグラフィックス処理	COMPUTER GRAPHICS PROCESSING (345/418)
ディスプレイ周辺のインタフェース入力装置	DISPLAY PERIPHERAL INTERFACE INPUT DEVICE (345/156)
ディスプレイ駆動制御回路	DISPLAY DRIVING CONTROL CIRCUITRY (345/204)
コンピュータグラフィックス表示メモリシステム	COMPUTER GRAPHICS DISPLAY MEMORY SYSTEM (345/530)
複数のディスプレイシステム	PLURAL DISPLAY SYSTEMS (345/1.1)
コンピュータグラフィック処理システム	COMPUTER GRAPHIC PROCESSING SYSTEM (345/501)
光学的手段による画像の重畳	IMAGE SUPERPOSITION BY OPTICAL MEANS (E.G., HEADS-UP DISPLAY) (345/7)
データに応答するCRT表示の制御	DATA RESPONSIVE CRT DISPLAY CONTROL (345/10)
積層された重畳表示装置	SINGLE DISPLAY SYSTEM HAVING STACKED SUPERIMPOSED DISPLAY DEVICES (E.G., TANDEM) (345/4)

3-4 分析に用いたツール「BizCruncherUSA」について

BizCruncher USA

Biz Cruncherは、特許の検索・閲覧の一連の作業を簡易な操作で可能にすることで、ユーザーの特許情報へのアクセスを容易にし、さらに特許情報の戦略的活用を支援するWebサービス(ASPサービス)です。



特徴

簡単

専門的知識が無くても**高度な分析**が可能
 ・お使いのブラウザからアクセスするだけで始められます

快適

思考の流れを止めない**優れた操作性**を実現
 ・クリックするだけで分析を進められます

多彩な分析 ユーザーの目的に応える**各種分析機能**を搭載

24時間いつでもご利用いただけます

<http://www.bizcruncher.com>

分析コンテンツ

検索・分析をシームレスに連携させることで、**精度の高い特許分析をストレスなく実行**できます。

➢ 権利者/出願人スコアマップ・技術分類マップ



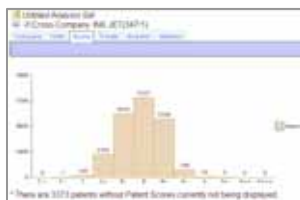
分析対象特許群における権利者・出願人別または技術分類別ポジションを明らかにします。

➢ 発明者分析



特定技術・企業におけるキーマンを明らかにします。

➢ スコア分布



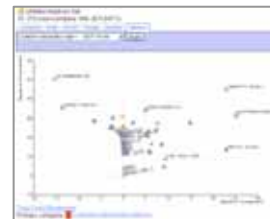
特定企業・技術におけるパテントスコアの分布を把握します。

➢ ステータス分析



現在のステータス状況や、ステータス別件数の推移を把握できます。

➢ アライアンス分析



買収・提携などのアライアンス先候補企業を探ります。

1. 本レポートは、米国特許商標庁より公開された特許情報のみを情報源としますが、記載内容には当該公開情報の手法により数学的・統計的に処理された秘密情報を含んでおり、当該情報に関する一切の権利は弊社に帰属します。したがって、貴社(殿)の内部資料としてのみご利用いただくこととし、本レポートの内容を第三者に漏洩することを禁止します。
2. 本レポートの著作権は弊社に帰属します。本レポートの全部もしくは一部を引用または複製、貸与、翻訳、転載・転用その他弊社の著作権を侵害する行為は一切禁止します。
3. 万一、貴社(殿)が前各項の定め違反して本レポートの内容を第三者に漏洩したため、弊社に対し何らかの紛議が生じ、もしくは貴社(殿)が弊社の著作権を侵害し、これによって弊社が損害を被ったときは、その損害は貴社(殿)に賠償していただきます。
4. 前項の損害賠償に関して貴社(殿)と弊社の間には訴訟の必要が生じたときは東京地方裁判所を管轄裁判所とします。
5. 弊社は、本レポートの内容について損害賠償の責を負いません。

—確認事項—

本レポートに記載された企業・団体または個人及び特許に関する情報は、後述の米国特許商標庁により発行された公開済みの各種公報等より得られる情報ならびに当該情報を所定の方法によって数学的・統計的に処理することによって得られる情報のみに限定していること、また、直接間接を問わず本レポートに係わる特定の企業・団体または個人などから、当該情報記載の対価としていかなる報酬も受領していないことを確認します。

—留意事項—

1. 本レポートの作成に用いた特許情報は、米国特許商標庁により発行された下記の電子化された公報にのみ準拠しています。したがって、対象期間外に発行された公報及び電子化されていない公報に関する情報は一切考慮しておりません。(例えば、調査対象の企業・団体または個人の特許出願について1979年12月以前に発行された特許公報が存在している場合も本レポートには反映されません。)

特許公報	: 1980年1月 ~ 2011年2月
公開特許公報	: 2000年11月29日 ~ 2011年2月

また、特許の「レーティング」および「パテントスコア」の算出には、欧州特許庁が提供するリーガルステータスも使用しており、算出時点で取りうる最新のデータを用いています。

2. 本レポートは、弊社が利用契約者様への情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の有価証券等の取引および特定の企業・団体または個人との取引を推奨または勧誘する目的で提供されるものではありません。
3. 本レポートに記載されているデータ、情報等は弊社が公に入手可能な情報に基づき作成したものではありませんが、弊社はその正確性、完全性、情報の妥当性等を保証するものではなく、また、当該データ、情報等を使用した結果についてもなんら補償するものではありません。また、ここに記載された内容は事前の予告なく変更されることがあります。
4. 弊社は、本レポートにおいて、利用契約者様に対して、特定の投融資等取引の妥当性の評価や、特定の投融資等取引についての潜在的な価値またはリスクの判断等を行うものではありません。
5. 弊社はいかなる場合においても、本レポートを提供した利用契約者様(本レポートの第三者への提供は取扱規則により禁止されておりますが、当該規則にかかわらず故意または過失により本レポートを受け取った第三者を含む)に対して、本レポートの使用に直接または間接的に起因したと思われる損害等(本レポートの使用上の誤り、あるいは本レポートの内容の脱落または誤りによるものを含む)について、損害賠償を負うものではなく、利用契約者様の弊社に対する賠償請求権は明示的に放棄されていることを前提とします。

特許・技術調査レポート
Patent & Technology Research Report
特許ポートフォリオ分析: SONY CORPORATION
2011.4